

# 施策分析シート（平成21年度）

No1

<b>施策名</b>	バリアフリー化の推進	<b>施策No</b>	02-09	<b>部課名</b>	福祉部障害者福祉課		
				<b>課長名</b>	小林 清美	<b>内線</b> 2680	
<b>関連部課名</b>	福祉部障害者福祉課・土木部道路課						
<b>行政評価事業体系</b>	<b>分野</b>	生涯健康都市[ ]					
	<b>政策</b>	高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成[02]					
<b>目的</b>	だれもが安心して生活することができるよう、様々なバリアフリー化を推進し、暮らしやすいまちづくりを行う。						
<b>指 標</b>	<b>施策の成果とする指標名</b>	<b>指標の推移</b>					<b>指標に関する説明</b>
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (28年度)	
	歩道再整備率	29	31	31	31	40	歩道再整備延長 / 歩道設置計画延長
	コミュニティバス運賃補助者数	13,950	14,321	17,146	23,520	-	平成21年度は年間見込数
	エレベーター補助実施数	1	0	1	0	-	整備駅箇所数
福祉タクシー券交付人数	2,815	2,841	2,865	2,642	-	平成21年度は6月1日現在	
<b>現状と課題 (指標分析)</b>	<p>区内の鉄道駅においてエレベーター整備補助を実施し、移動の制約を解消する垂直移動手段の確保を行っているが、JR三河島駅は未整備の状態である。</p> <p>道路計画事業としては、既存歩道の整備を図り、だれにでも使いやすい歩道を整備していく必要がある。</p>						
<b>今後の方向性</b>	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>エレベーター整備補助については、区内各駅の整備状況等の把握に努める。JR三河島駅におけるエレベーター整備については、JRと協議しながら実施していく。</p> <p>道路計画事業としては、日暮里中央通りに引き続き、あやめ通りの歩道のバリアフリー化を図る。</p>						

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	区民のだれもが安心して外出できるよう、駅や道路等のバリアフリー化を推進する。

# 施策分析シート（平成21年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		19年度	20年度	前年度 設定	今年度 設定	
福祉タクシー事業	06-05-32	99,865	103,271	推進	継続	現状の規模で実施する
リフト付自動車利用助成事業	06-05-33	2,468	2,697	継続	継続	現状の規模で実施する
コミュニティバス障がい者利用負担助成	06-05-34	1,241	1,515	推進	継続	現状の規模で実施する
福祉のまちづくり・鉄道駅エレベーター等整備支援事業	06-05-77	-	25,920	重点的に推進	重点的に推進	多数の人が利用する駅において、障がい者のみならずエレベーター整備は必要である
障がい者情報バリアフリー化推進事業	06-05-84	289	287	継続	休止・完了	障害者福祉会館運営費に統合
あんしん歩行エリア整備費	10-02-15	81,690	-	推進	推進	だれもが安心して外出できるよう整備が重要である
合 計		185,553	133,690			